

胎内市租税教育推進協議会長賞

命のための税金

胎内市立 黒川中学校 三年 黒澤 珂那 さん

急病や事故でのケガなどで誰でも呼ぶ事ができる救急車ですが、海外では日本の様に無料ではない国が多いと聞いた事があります。どれくらい費用がかかるのか気になったのでインターネットで調べてみました。救急車の費用負担の仕組みは、国や地域によって異なるそうです。例えば、アメリカ、オーストリア、フランス、中国などでは、救急車の利用は有料です。アメリカでは、州によって差があるそうで、ニューヨークでは基本料金が五万円で、それに加え、タクシーの様に走行距離や利用時間に応じてプラス料金が加わるシステムも普及しているそうです。一方、救急車が税金によってまかなわれている国は非常に少ないそうです。無料である国は、日本、イギリスのロンドン、イタリアのローマ、香港などです。その中でも全国無料というのは、日本と香港だけの様です。日本は外国からの旅行者であろうと救急車の利用は無料ですが、香港は香港に住んでいる方のみ無料だそうです。ロンドンやローマでは民営と公営があり、民営だと有料になるそうです。

それでは、救急車の費用はどこから出ているのでしょうか。無料と言っても設備や備品、人件費などお金はかかっています。その費用は税金でまかなわれているそうです。救急車が一回あたり出動するのにかかる費用は約四万五千円とされています。令和二年中の費用は、年間で約二千六百七十億円が税金から捻出されたそうです。

私は、この事実を知ってとても驚きました。また、自治体のお金で運営されていることを知りました。近年、軽い症状でも救急車を利用する人が増え社会問題となっています。この様な事が続くと緊急に病院へ搬送する必要がある人への救急車の到着を遅らせる事になり、救える命が救えなくなる場合があります。救急車搬送のために使われる費用は、一生懸命働いて納税をしてくれる方々がいる上に成り立っている事なので、無駄遣いしないで欲しいなと思いました。中学生の私が払える税金は消費税という小さなものにすぎません。しかし、私は消費税以上の恩恵を税金から受けています。私も大人になって働けば納税する事になりますが、皆が安心して生活を送れる様な税金の使い方をしてほしいと思いました。